

研究対象等に通知し、又は公開すべき事項

研究課題名：

空間トランスクリプトーム解析を用いたウイルス性心筋炎における組織病理病態の詳細解析

研究の目的と方法：

心筋炎の原因としてウイルスの感染が挙げられ、これまで様々な原因ウイルスが検出されてきましたが、これらのウイルスが心筋のどの細胞にどのように感染して体に害をなすのかの詳細はよくわかっていませんでした。この研究では、国立感染症研究所の感染病理部に病原体検査を依頼されたウイルス性心筋炎症例を対象として、ウイルスの検出と併せて心筋の“空間トランスクリプトーム解析”を行い、心筋炎の組織においてどこにウイルスが感染し、またこの感染に対して心筋のどこでどのような反応が起きているのかを解明することを目指します。得られた知見を活かすことで、ウイルス性心筋炎の病態を解明するとともに適切な病原体検索手法を提案し、最適な治療法への手がかりを示すことをさらなる目的としています。

研究の対象者及び対象期間：

選択基準：下記の①もしくは②を満たす方

- ① 病原体検索の目的で国立感染症研究所 感染病理部へ情報と試料が提供され、感染病理部において残余試料が保管されている心筋炎の方
- ② 本研究の実施期間中に病原体検索の目的で国立感染症研究所 感染病理部へ情報と試料が提供された心筋炎の方で、感染病理部における必要な検索が完了し、報告書が発行されたのちに、残余試料が発生した方。

対象期間はこれまでに依頼を受けたすべての時期から2028年3月31日までです。

研究に利用する試料・情報：

試料：検査目的で採取され、国立感染症研究所感染病理部へ送付・保管されている心筋炎症例の心筋組織その他のホルマリン固定・パラフィン包埋（FFPE）組織検体または凍結組織検体の残余、および検査目的で採取された血液、喀痰、尿、髄液、便などの臨床検体の残余を用いて研究を行います。

情報：検索時に提供された年齢、性別、既往歴、臨床診断、臨床経過、臨床検査結果、病原体検査結果。これらの情報はいずれも個人を特定しない形で管理され、研究に使用されます。

研究期間：

令和6年（2024年）10月29日～令和10年（2028年）3月31日

研究組織：

国立感染症研究所

研究代表者：感染病理部 部長 鈴木忠樹

試料・情報の管理について責任を有する者：

国立感染症研究所 感染病理部 部長 鈴木忠樹

お問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、対象となる患者さんが入院した医療機関の担当医を通じてお申出ください。

なお、成果の発表後は、研究対象からの除外に応じることができません。

連絡先

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所 感染病理部 部長

鈴木 忠樹（研究代表者）

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189